

挨拶

就任挨拶

副会長
大門 悟



このたび副会長を仰せつかりました大門と申します。

会場には私をご存じの方も何名かいらっしゃると思いますけれども、私自身、今回の人事は極めてサプライズ人事でございまして、今なお、なぜここに私は立っているのかなというのがよくわからない次第でございまして、経歴を簡単に言いますと、私はブラザー工業という会社に入りまして、最初に特許課に配属されまして、それ以来ずっと特許、最近では知財と言いますが、知財の世界をずっと歩んできております。会社そのものはそんなに大きくありませんけれども、

経験だけは人一倍と申しますか、人並みにやっております、ご承知の方もいるかと思いますが、発明補償問題を抱えております。

先般、発明の日に判決が出まして、ブラザーにも発明があったのかということで、変な再認識をされましたけれども、社会に及ぼす影響がかなり大きいかなと思い、友人、知人を頼っていろいろ相談に乗ってもらったりしております。

ほかにもパテントトロール問題や、中国問題、先ほど言いました人並みにいろんな事件を抱えております。

どなたかフォローの風とおっしゃいましたけれども、私はこの20年来アゲインストの風でずっと悩まされておまして、会場の中にも私にアゲインストの風を送っている方が若干見えるんじゃないかなと、先ほどから見ておりますけれども、そういう中で、私は決して副会長という役職にはふさわしくありませんけれども、知財の仕事を地道にコツコツとやってきたということだけはどうぞではないと思います。ですから、今後も指導するというよりは、皆さんにいろいろお尋ねしながら、あるいは一緒になってやっていくことかなと。たまには私のかいた恥をちょっと話さないよというのが宗定さんのお願いなのかなと思っております、このたびお引受けしました。どうぞよろしくお願い致します。